

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 剰余金の配当 9月30日・3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
公告の方法	下記ホームページに掲載する。 <a href="http://www.nsg.co.jp/">http://www.nsg.co.jp/</a>
会計監査人	新日本有限責任監査法人

ご住所変更などのお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座に当社の株式を預けられていない株主様の株式につきましては、下記の電話ご照会先までお問い合わせください。

### 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(最低取引単位に満たない1~999株の株式)をご所有の場合、当社に対して、

- (1) 買取請求または
- (2) 買増請求(ご所有の単元未満株式と併せて1単元(1,000株)に達するまでの株式を買い増すこと)をすることができます。

お手続きの詳細につきましては、一般口座ご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社までお問い合わせください。特別口座の株主様(証券会社の口座に当社の株式を預けられていない株主様)につきましては、下記の電話ご照会先までお問い合わせください。

郵便物ご送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話ご照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル)

## 会社概要 (2015年3月31日現在)

商号	日本板硝子株式会社
本店	〒108-6321 東京都港区三田三丁目5番27号 (住友不動産三田ツインビル西館) TEL: 03-5443-9500
設立	1918年11月22日
従業員数(連結)	27,371人
資本金	116,449 百万円
上場証券取引所	東京(証券コード: 5202)
お問い合わせ	<a href="http://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us">http://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us</a>

### お知らせ

第149期定時株主総会の議決権行使結果につきましては、臨時報告書により、インターネット上で、EDINET(<http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>)に掲載されるとともに、当社ホームページにおいても開示されます。これらをもって決議ご通知に代えさせていただきますので、ご了承ください。

#### ホームページのご案内

当社グループのホームページでは、決算情報や最新プレスリリースなど、さまざまな情報を掲載しております。どうぞご利用ください。

<http://www.nsg.co.jp/>



## 株主の皆様へ

日本板硝子株式会社  
第149期 報告書  
2014年4月1日～2015年3月31日

「ガラス技術で世界に変革を」

## ごあいさつ

平素はご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年4月1日に、代表執行役社長兼CEOに就任いたしました森重樹でございます。

当期における、当社の主要な市場は、地域によって好調と低調が分かれる状況となりましたが、当期の営業利益は、これまでのリストラクチャリング施策に伴うコスト削減効果により、前期から改善しました。

当社はバランスのとれた地域と事業の構成により、変化・多様化する世界経済の動向に適切に対処する体制を引き続き維持するとともに、2018年3月期までの中期経営計画に沿って、収益性の回復をさらに加速させてまいります。



代表執行役社長兼CEO  
森 重樹

当期における建築用ガラス事業の業績は、リストラクチャリング施策に伴うコスト削減効果や北米市場の改善により、前期を上回りました。同事業の売上高は、円安に伴う為替換算の影響や北米市場の改善により、前期に比べて増加しました。

自動車用ガラス事業の売上高は、円安に伴う為替換算の影響により、前期をわずかに上回りました。

高機能ガラス事業の売上高と営業利益は、一部の製品で価格が前期の水準を下回った影響もあり、前期に比べて減少しました。

当社は、持続可能な事業業績をベースにして、配当の支払いを確保することを利益配分の基本方針としておりますが、当期の期末配当につきましては、実施を見送ることとさせていただきます。株主の皆様には、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。当社は、配当が株主の皆様にとって重要なものであることを認識しており、当社グループの業績が十分に改善した段階で配当の実施を再開することを考えております。

当社は、2014年5月に、2018年3月期までの期間を対象とする新たな中期経営計画を発表いたしました。この中期経営計画の基礎となるグループの長期戦略ビジョンは、当社グループが高付加価値ガラス企業[VAガラスカンパニー]に変革することです。当社グループは、中期経営計画に沿って、先進性のある技術を用いた製品を生産するとともに、財務業績を改善することで、株主価値を創造することができるものと考えております。

株主の皆様には、引き続き当社グループへのご理解とご支援をお願い申し上げます。

2015年6月4日

日本板硝子株式会社  
代表執行役社長兼CEO

森 重樹

## 連結業績ハイライト

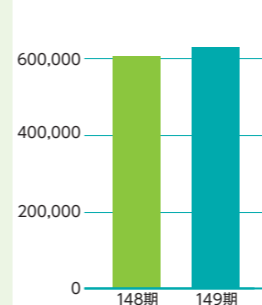
### 連結損益計算書(要旨)

	第149期 (2015年3月期) (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	第148期 (2014年3月期) (2013年4月1日～ 2014年3月31日)
売上高(百万円)	626,713	606,095
個別開示項目前営業利益(百万円)	16,848	14,567
税引前利益(△は損失)(百万円)	4,807	△15,120
当期利益(△は損失)(百万円)	2,893	△15,460
親会社の所有者に帰属する当期利益(△は損失)(百万円)	1,668	△16,605
基本的1株当たり当期利益(△は損失)(円)	1.85	△18.40

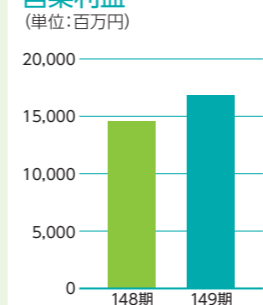
### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

	第149期 (2015年3月期) (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	第148期 (2014年3月期) (2013年4月1日～ 2014年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,593	17,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,192	△17,106
(フリー・キャッシュ・フロー)	1,401	774
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,295	△20,744
現金および現金同等物の期末残高	62,340	52,293

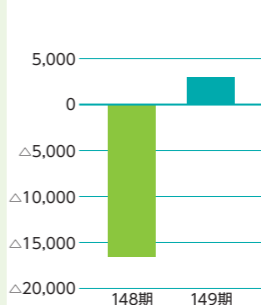
### 売上高 (単位:百万円)



### 個別開示項目前 営業利益 (単位:百万円)



### 当期損益 (単位:百万円)



### 連結貸借対照表(要旨)

	第149期 (2015年3月期) (2015年3月31日)	第148期 (2014年3月期) (2014年3月31日)
非流動資産	652,964	644,402
流動資産	267,142	281,806
資産合計	920,106	926,208
負債合計	734,098	732,722
資本合計	186,008	193,486
負債および資本合計	920,106	926,208

### 事業別連結売上高構成比



● 建築用ガラス 欧州	15%
● 建築用ガラス 日本	11%
● 建築用ガラス 北米	5%
● 建築用ガラス その他地域	9%
● 自動車用ガラス 欧州	23%
● 自動車用ガラス 日本	8%
● 自動車用ガラス 北米	13%
● 自動車用ガラス その他地域	6%
● 高機能ガラス	10%

注: 当社は、第146期より国際会計基準(IFRS)に基づいて連結財務諸表を作成しています。IFRS財団による現在継続中の退職給付制度に関するIFRS (IAS第19号およびIFRIC第14号)の検討を契機として、退職給付制度に関する当社の会計方針を変更したことに伴い、第148期については当該会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しています。

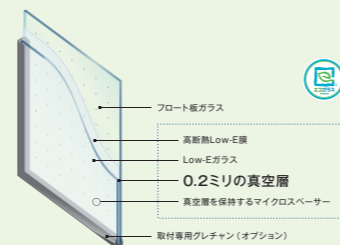
## トピックス

### 真空ガラス「スペーシア®」の生産能力を増強

当社グループは、真空ガラス「スペーシア®」について、2013年より従来比30%の生産能力増強を計画し、そのうち一部を2014年3月期中に稼働させましたが、引き続き需要が旺盛であることから、残りの能力増強分についても稼働を開始いたしました。

真空ガラス「スペーシア®」は、当社が世界で初めて実用化した高断熱真空ガラスです。2枚のガラスの間に0.2ミリの真空層を閉じ込める真空技術と、特殊金属膜コーティング技術により、厚みの薄い高断熱の真空ガラスを実現しました。厚さ約6.2ミリでありながら、厚さ18ミリの一般複層ガラスの約2倍、一枚ガラスの約4倍の断熱性能を有します。室内温度を快適に保つことに寄与し、省エネルギー、結露対策にも効果を発揮します。

断熱リフォームへの注目度の高まりとともに、「スペーシア®」も順調に販売を増やしています。



真空ガラス「スペーシア®」構造図

### NSGグループ コーポレートガバナンス・ガイドラインを制定

当社は、本年6月1日に施行された「コーポレートガバナンス・コード」の諸原則の考え方を支持し、「NSGグループ コーポレートガバナンス・ガイドライン」(以下、「本ガイドライン」)を制定いたしました。

本ガイドラインは、当社グループが、持続可能な方法でその企業価値を中長期的に高め、ひいては株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様との共同価値を高めていくための企業統治(コーポレートガバナンス)システムに関する基本的な考え方と枠組みを定めたものです。

このようなコーポレートガバナンスの枠組みに沿って、この4月よりスタートしました森重樹新代表執行役社長兼CEO率いる執行部を中心に、昨年5月発表のNSGグループ長期戦略ビジョンの下、同中期経営計画の実行を進めてまいります。

当社グループは、引き続き、より良いコーポレートガバナンスの実現を経営の重要課題と位置付け、コーポレートガバナンスの向上に向けて取り組んでまいります。

### WWFジャパン「ビジネスと生物多様性勝手にアワード」で山椒の実賞を受賞

当社は、WWFジャパン(公益財団法人世界自然保護基金ジャパン)が企業の生物多様性への取り組みを独自に調査し表彰する、「ビジネスと生物多様性勝手にアワード」において山椒の実賞(特別賞に相当)を受賞いたしました。

当社は、2010年より、環境負荷が特に高いサプライヤーの特定を行っており、その中でも木製梱包材に使用される木材について、サプライヤーに対してCoC認証(Chain of Custody:製造・加工・流通の全ての過程で認証された森林の木材を使用していることの証明)の取得を求めています。

今回、こうした取り組みが独自性・自主性に富んだ活動であること、またサプライチェーンを通じてCoC認証の連鎖を繋げることが生物多様性への配慮において非常に重要な意味を持つことが評価されました。当社グループは、引き続きサステナビリティに積極的に取り組んでまいります。



## 特集 NSGグループの高付加価値製品(VA製品) カバーガラス市場での当社ビジネスの拡大に向けて

タッチパネル市場の拡大とともに、グローバルにカバーガラスの需要増加が予想されます。

当社は、長年にわたる超薄板ガラスにおける技術・開発力を発揮し、今後もグローバルなニーズに応えてまいります。

当社は1978年に世界に先駆けて超薄板ガラス(UFF®: ULTRA FINE FLAT GLASS)の生産・販売を開始し、以来、高品質・低コストのガラスを提供することで、液晶パネル業界の発展に大きく貢献してまいりました。近年では、タッチパネル、スマートフォンやタブレット端末のカバーガラスなど、多様化するニーズに対応するため、UFF®の製品ラインアップを増やし、さまざまな形でUFF®製品を提供しております。

従来のUFF®製品に加えて、当社は、2014年5月に、カバーガラス向けの化学強化用の新組成ガラスの開発と発売を発表し、2015年2月に当該新組成ガラスのブランド名を「glanova®(グラノヴァ)」とすることを発表いたしました。glanova®は、「glass(ガラス)」と「nova(新星)」に由来します。

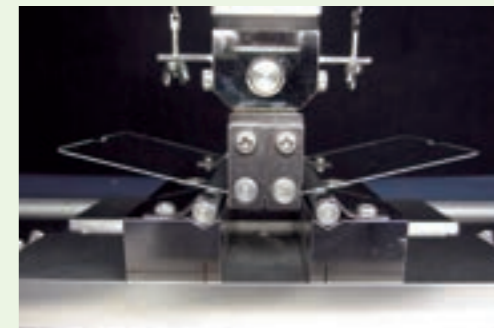
新ブランドのglanova®は、従来の薄板ガラスの製法の強みを活かし、低コストでありながら、熱成形加工がしやすく、かつ従来のソーダライムガラスより強度が高くかつクリアであるなど、強化ガラスに求められる性能を有しています。軽さ、薄さ、そして強度が求められる多くの製品への採用が期待できます。

カバーガラスの需要は、タッチパネル市場の拡大とともに今後も増加が予想されており、また顧客のニーズが非常に多様化しております。当社グループは、この新ブランドの投入により、カバーガラス市場での当社グループのビジネスを拡大してまいります。

当社グループは、2014年5月15日に発表いたしました、長期戦略ビジョンおよび中期経営計画の下で、高付加価値製品(VA製品)の開発・販売に注力してまいります。



glanova®はカバーガラスに使用される化学強化ガラス用の新組成のガラスです。



glanova®の曲げ強度試験の様子。glanova®は高い強度を有します。